

3月15日1979・No. 15

京橋の印刷

発行所
東京都印刷工業組合
京橋支部

〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855

印刷所 八千代印刷株式会社

新川Ⅱ現在は、靈岸島を母体とする旧南新堀
その他数町をもって町名としているが、昔は
川そのものの名称であった。新川は隣接の今
の茅場町辺から茅原つづぎであったが、南北
に水路がつくられた。これが新川堀で廻船、
輸送に利用されて両岸に、はじめ材木問屋、
のち下り酒の問屋街となり、魚河岸や浅草蔵
前の米穀河岸と同様の繁昌を重ねていた。戦
後埋立てられ、その風情は見られないが「新
川の碑」を残し酒問屋は依然として多い。当
時、清酒は大阪の灘からの下り酒——それも
吉野杉で作った樽に詰められて二〇日間、太

平洋の荒波に揉まれつづけ、杉特有の香氣が
程よく交わり清酒の味を一段とよくした、い
わゆる富士見酒が賞味されたため、江戸への
早着きが争われ、品川沖ではしげに積みかえ
られた荷が新川堀につくと、各問屋へ赤い法
被を着た男衆一〇人程が日の丸の扇を片手に
開き旗をたて太鼓をうちながら「只今
何々の番船が入りました」とふれあるくなら
わしであったという。その新川が隅田川に臨
むところに永代橋がある。



目次

巻頭一言 小宮山支部長	1
組織強化対策の努力実る	2
組合学校 (6) 伊坂一夫	4
△各種委員会の活動▽	
開店休業の労務個別相談	7
「いんさつマーク名入便箋システム」 ノウハウセットについて	8
新川地区のページ	
新川点描	9
地区だより	
新川地区・京橋地区	12
故・先川道三さんを偲んで 石沢幸	13
82年ドルッパ研修結団式・中央区・ 工団連表彰・ねむの木学園から礼状	15
支部の動き・各種印刷コンクール受 賞作品・編集後記	16

巻頭一言

元小学校校長で教育評論家である金沢嘉一
先生の講演がNHKラジオ放送され近頃にな
い感銘をうけた。「子供の教育と未来」と題
するお話は、一時間の制約もあって「感動す
る心」が中心であった。子供を教育すること
に限らないが、人間社会にあって必要なこと
は、自分の考えていることを率直に、相手の
心に刻んで貰うことではないだろうか。ある
ことを聞いて自分が感動し、その感動を感動
をこめて相手に伝えてこそ、その役目を果せ
るのではないだろうか。「感動する心」を柱
とした交流は、子供の教育だけではなく、同
業同愛の士にとっても不可欠の要件ではな
らうか。

組織強化対策の努力実る

——組合加入増強運動の現況——

一、組合員数増加傾向となる

東印工組では企業の繁栄と業界の安定のために、昭和五十三年度を組合員増強期間としてその運動を展開中であります。そのため加入手数料も平常時の半額

(一・五ヶ月分)とする特典を設け、全組織をあげてアウトサイダーの勧誘運動を推進しております。東印工組の各支部

においても夫々に独自の募集、パンフレットを作製したり、また役員が直接個別訪問に出向くなどの工夫をこらしてこの運動を推進しております。その効果が漸く

あらわれてきた様で、別表1に示す通り、二ヶ月一回の定例理事会で発表される組合員の増減状況も最近に至り漸く増加傾向を示す様になってきております。

このため東印工組では増強のための特別期間をとりあえず一期延長することを決定し、昭和五十四年六月三十日迄に加入した場合の加入手数料を五十三年度と同じ一・五ヶ月分とすることとしました。

参考までに別表2に最近数年間における印刷業の全国工業統計数と東印工組及び当京橋支部の組合員数の移動状況を表示しましたが、昭和四十五年を

一〇〇として、昭和五十一年では、全国工業統計で業者数は三

一〇の増加に対して組合組織数

は五〇の減少傾向を示し、今後共組織強化には格段の努力が必要であることを痛感

させます。又別表3は従業員規模別の加入率を示したものでありますが、従業員

は五〇の減少傾向を示し、今後共組織強化には格段の努力が必要であることを痛感

させます。又別表3は従業員規模別の加入率を示したものでありますが、従業員

は五〇の減少傾向を示し、今後共組織強化には格段の努力が必要であることを痛感

させます。又別表3は従業員規模別の加入率を示したものでありますが、従業員

(別表1) 53年度内東印工組組合員増減数

月 日	発表場所	組合員数	増減数
5/2	理事会	2,884	—
7/27	〃	2,873	—11
9/27	〃	2,866	7
11/29	〃	2,861	5
2/1	〃	2,852	9
2/26	組織委員会	2,861	9
3/13	〃	2,868	7

(別表2) 印刷業の年度別推移

年 度	全国工業統計	東印工組	京橋支部
45	20,530	3,144	308
46	20,347	3,188	306
47	23,562	3,128	306
48	23,796	3,093	304
49	23,911	3,050	304
50	26,842	3,036	299
51	26,922	2,995	292
52	—	2,945	279
53	—	2,906	285

※東印工組は期首数、京橋支部は名簿作成時数

(別表3) 規模別加入率

区 分	都 内 者	東印工組 加入者	加入率
0～9人	6,185	1,883	30.4
10～19人	794	461	58.1
20～49人	467	344	73.7
50～99人	135	127	94.1
100～299人	63	58	92.1
300人以上	22	4	18.2

二、当支部における運動の推進状況

当京橋支部におきましても前記本部の方針に従って増強運動を推進しておりますが、別表4にある通り、三月末現在で

十九社(理事会未承認も含む)の加入をみております。支部報第一〇号にも運動方針等についてご報告いたしました。昨年

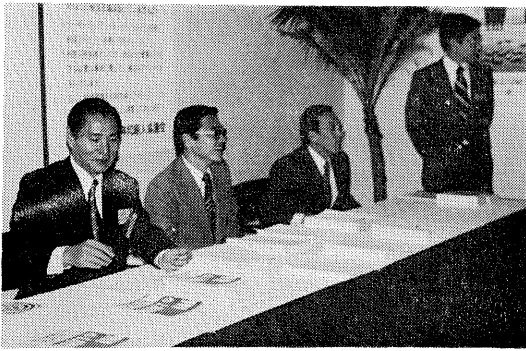
年末までにまずアウトサイダーの実態を把握するためにその名簿の作製に着手し、電話帳、京橋法人会員名簿、全印健

加入者名簿等を整理し、又支部組合員のご協力をいただき、かなり詳細なるアウトサイダーの名簿を作製しました。これを基礎として更に各地区毎に実際に加入

勧誘可能な業者の名簿を選んでいただき、これを基として二月以降加入増強運動に入った訳であります。実際に加入運

動を担当されたのは各地区長及び幹事の皆様方でありまして、三月末日現在で十

数二〇人以上二九九人以下の規模では加入率七九・五％にあるのに対し、九人以下では加入率三〇％程度と、今後の組織強化の問題点を提示しております。今後特にこれらの小規模企業に対して業界団結の必要性を説き、参加を呼び掛けてゆくことが重要であります。



プリンテングフェア相談コーナーの組織委員の活動

東印工組では今回の加入増強運動は一応六月三十日迄を期限としておりますが、組織強化の運動とはその性質上平素の活動として絶えず続けてゆかねばならぬ問題であります。印刷業界は経済低成長時代に対処して、昭和五十二年度か

三、今後共運動を推進しよう

九社の加入をみたのは、偏にこれらの方々のご努力によるものであります。加入促進には人的なつながりによる個別訪問をして、親しく口頭で勧誘することが最も効果がありますが、今後共運動の推進方法には努力と工夫を重ねることが必要であります。アウトサイダーの中にも組

合事業に関心を持つ業者の数は相当数存在することが予想されます。それらの方々に組合事業についての正しい情報を提供することが必要であります。その為には地域活動を通じて平素の周知運動が重要であると思われれます。今後支部組合員皆様方のご支援をお願いいたします。

一層重要な問題であります。最近に至り第三次近促法実施の計画も具体化しつつあるやに見られますが、その実施の為には組織の強化と連帯意識の高揚が必要であります。まず地域の活動を強化して人と人のつながりを強化し、その輪を次第に拡大してゆることが重要であります。私共をとりまく経済環境はますます厳しさを増してゆることが予想されます。尚一層業界の団結が必要な時代であります。支部組合員の皆様方により一層のご協力をお願いする次第であります。

本部・組織委員 篠倉 鉄郎

(別表4) 京橋支部新規加入申込者名簿

No.	地区	社名	住所	代表者
1	入船	信光印刷(有)	入船1-3-3	知久 信次
2	八丁堀	(有)毎原印刷所	八丁堀3-1-11	毎原喜代志
3	湊	グリーンフォーム(株)	第2遠藤ビル 湊2-6-12	金子 春雄
4	〃	正和印刷(株)	〃3-2-9	西田 正秋
5	〃	(株)豊林社印刷	〃3-16-6	加来(全印)三
6	〃	仁和三印刷	〃2-14-11	糸賀 一
7	〃	(有)水谷弘報印刷	〃1-10-7	熊田 泰子
8	〃	(株)協和美術社	〃1-12-4	村田 伸一
9	新川	八芳印刷(株)	〃2-19-4	布施 芳久
10	〃	明文美術印刷(株)	〃2-15-5	小野(全印)雄
11	〃	(有)さかえ印刷工業	〃1-27-5	泉 圭一
12	月島	(株)杉森印刷	工藤ビル 月島3-28-4	杉森 晴道
13	新富	オカムラ印刷(株)	山下ビル 新富1-17-4	岡村 忠雄
14	湊	一匡舎印刷所(有)	湊2-11-7	山口 甚三
15	〃	(有)光成社印刷所	〃2-7-1	飯塚総左エ門
16	〃	三洋印刷工芸(株)	〃3-8-3	武江 武夫
17	〃	(有)湊町中央社	〃3-17-1	前田 武夫
18	新川	明治印刷(株)	新川1-4-4	板岡 祐一
19	〃	(株)三昌堂	〃2-18-10	加藤厚太郎

生産性の「拡大」に

「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機

小森印刷機械株式会社

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 ☎東京 (624)7161番(大代表)

組合学校

(七)

伊 坂 一 夫

高橋前理事長の謝恩会

昭和二十九年二月四日、高橋前理事長
に対する謝恩会が、京橋支部主催で、築
地治作に於て開かれ、百二〇余名が出
席、ご功績を称えつつ、盛大な親しみあ
る感謝会でした。

調整組合設立準備委員会

一二月九日、東京印刷工業調整組合設
立準備委員会が開かれ、準備委員長に向
喜久雄氏が推薦され、京橋支部から小林
光次氏が副委員長に就任されました。

伊藤集氏理事長に就任

一二月二四日、伊藤理事長代行が東京
印刷工業協同組合理事長に就任され、伊
坂一夫副理事長に就任いたしました。

向喜久雄氏

協同組合理事長に

昭和三十一年一月、協同組合臨時総会
に於て、調整組合と協同組合の運営の一
本化する為、伊藤理事長が辞任し、調整

組合理事長向喜久雄氏が協同組合理事長
にも選任されて、伊坂一夫副理事長に就
任いたしました。

伊藤理事長さんは温厚な方で、高橋さ
んとは異った意味で、おつき合ひし、偶
には役員会のあと、二人でおでん屋へ行
った事もありました。

「孫に特急の汽車はどこから出るの」
と云うと、「大丸から出る」と云う話を
して「孫は可愛いものですヨ」と云う
笑顔は今でも目についています。

高橋前理事長

黄綬褒章を受く

昭和三十三年五月、高橋前理事長永年に
亘る印刷業界につくした功績を認めら
れ、黄綬褒章が授与されました。

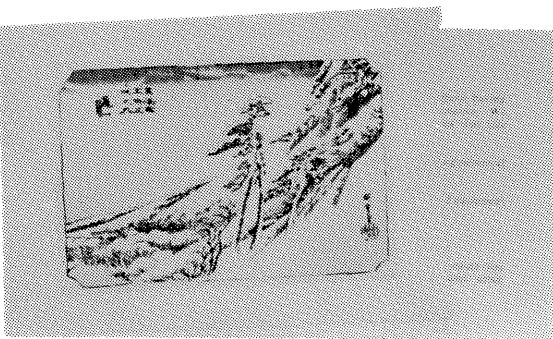
同六月、京橋支部では祝賀会挙行の話
が出たが強くご辞退があったので、記念
品を贈って、その榮譽をお祝いいした
ま。

東京印刷工業組合創立

三十三年四月、協同組合、調整組合の通

常総会で、法律の改正に伴い、調整組合
を工業組合に移行する事となり。理事長
は向喜久雄氏、副理事長田島久男氏、中
村榊氏、浅野剛氏の三名に決まりました。
私は戦災直後から、組合に永い間お世
話になりましたが、自分の会社の復興が
一向進みませんので、お暇頂戴を願ひ出
て、やっと放免になりました。有難う御
座いました。

向理事長とは二十七年以来、親しくおつ
き合ひして居りましたが、健保創立で話
合った時、高邁な構想を綿密に話されこ
の方なら政治力もあるし、実行力もある
とお見受けし、組合の将来を託せる方だ
と敬服いたしました。



自己紹介の英文名刺

業界のトップメーカーで
全国で一番よく使われている！

ハート印 [名刺用紙・私製はがき・招待状カード・封筒] 発売元
株券用紙・賞状用紙・荷札・のし紙・カレンダー

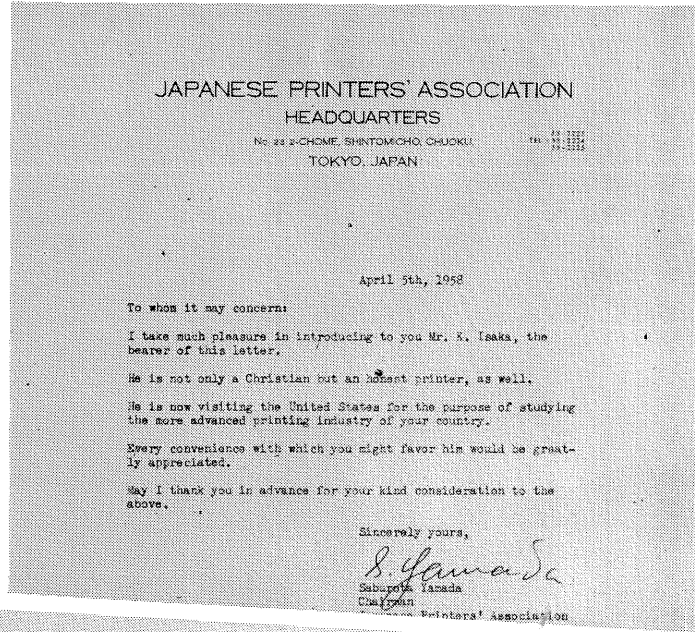
ハート株式会社

東京東支店

135 東京都江東区冬木15番10号 電話 東京 (03) 641-1153 代表

本社 540 大阪市東区南農人町2丁目39番地 電話 大阪 (06) 942-2321 番 (大代表)
支店 札幌・仙台・東京西・東京南・東京北・静岡・名古屋・金沢・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡

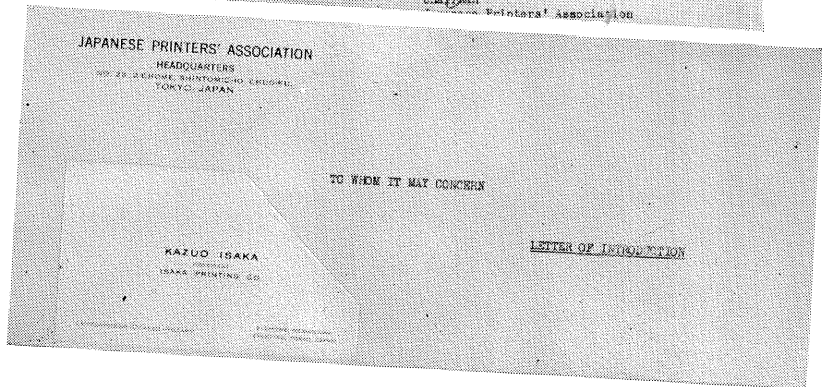
←日印工会長・山田三郎氏の紹介状



ドルロッパ視察団

昭和三十三年(一九五八年)一月一五日ドルロッパ視察団の計画があるのを知って、単身でアメリカ経由で、欧州にて合流する事が出来ぬかどうかと申込み、手配をたのみ、OKをとりました。

二月一日、高橋与作氏をわずらわし、



お伴して凸版印刷株式会社に山田三郎太社長を訪ね、私用の外にドルロッパ見学参加のお話をして、再び紹介状をお願いしました。

四月一〇日 多数のお見送を頂き、又羽田空港にて高橋与作氏より、激励の辞を頂いて一〇時離陸、東へ向って世界一

周の旅に出ました。

ハワイ・シスコ・パファロー・ロチエスタ
ー・シカゴ・ニューヨ
ークを歴訪、ニューヨ
ークでATF会社の宣
伝部長キューベリアス
氏(ドルロッパ米国視
察団長)に会った時、
親切に一緒に大西洋を
渡ろうと云われて、救
いの神とばかりお願し
て、飛行会社を変更し
て米国視察団三六名の
内に入れてもらいまし
た。

五月三日(土)夜七
時、ニューヨーク空港
を出発。愈々大西洋横
断。

ヨーロッパ上

陸第一步

五月四日(日)アイ
ランドに途中着陸し
て、更に英仏海峡を越え、午後五時半エ
ッセン着、日本よりのドルロッパ視察団は
既に到着との事で、伊藤氏、新村氏の居
るホテルを訪問しました。

御元氣な両氏の顔を見て、久瀾の情と
これからは二三日振り日本語で自由に
通じると思うと、涙が出た。日本から重

写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成<写植スクール>
- 版下マンの養成<フィニッシュワークスクール>

株式会社 モリサワ

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

四六四載オフセット オリバー 8

軽便・高速・重装備
580×440. 9000枚/時
姉妹機：オリバー 6 菊四載

桜井機械販売株式会社

〒135 東京都江東区福住2-2-9
電話 (03) 643-1131

い思いをして御持参の缶入り、日本酒を御馳走になりました。冷やでおつまみなしの酒で乾盃しました。そのお蔭で元氣百倍して、翌日からの欧州旅行の旅がスタートしました。

之からは一行と行動を共にし、主に両先輩と一緒でした。

五月五日・六日 第二回ドルツパ展覧学。規模の大きい事は予想以上数棟あり、成程世界一の印刷展だと驚嘆しました。七日はエッセンで印刷会社二社見学。エッセン駅はまだ復興が間に会わず(?)ホームの爆撃の跡はそのままであった。

五月八日(木) エッセン出発、首都ボンを経て、遊覧船にてライン河を上り、有名なローレライを左岸に見ながらフランクフルトに到着。

一〇日(土) グーデンベルグ博物館、ハイデルベルグ城を見学。

友人と荷造材料を買いに行つて、一行のバスに乗りおくれ、二台のタクシード、あとから追掛けたという、ハブニングもありました。

一一日(日) フランクフルトより伯林へ。午後市内及東独領見物、西ベルリンも残骸建物そのままの姿を見ました。

夜九時、伊藤、新村、堀越、大野、竹尾氏等とナイト・クラブ・ツァーにて水芸を見に行き、その規模の雄大さに驚嘆しました。

一二日 ウルシュタイン印刷を見学に行く、入口の様子は共同印刷そっくりで

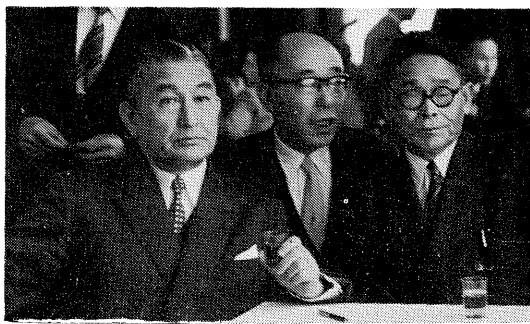
あった。従業員四、五〇〇名、ベルリン印刷の六五%はこなす由。流石に雄大なものです。

一三日 一一時三〇分ベルリン発、ハノーバー・ボンで乗換えロンドンのホテルについたのは夜八時で丸一日かかりました。

ハノーバー飛行場で、某先輩から伊坂君ライスカレーを頼んでくれと云われたが、当時はまだ米が来ていないので、通訳するのに困りました。

(註奥さんの処を離れて、十日目ホームシックのはじまりです。)

ロンドン三泊、活版工場ワットン・ビネー印刷を見学。リーグイ英語版二丁掛で製本していました。部数はアバンダン



ライン下りの船中にて左新村、右伊藤の両先輩、中央は筆者伊坂

ト(大量で、云えない。)

五月一六日(金) ロンドン発。パリへ、パリ三泊、オデリン平版会社、ルーブル美術館、ベルサイユ宮殿リド等見物。

五月一九日(月) パリ出発、ジュネーブへ、夕方新村、伊藤氏と共に下町に出かけて、高級料亭?に入ったが、英語が通ぜず、伊藤画伯が鶏の画を書き、お尻から卵を落して、卵料理を注文した。画は万国共通だと云って笑いました。

五月二〇日(火) モンブラン征服、ケープルで一回乗換、頂上をきわめて、氷におおわれたアルプス連峰の景色を満喫しました。『アー絶景かな、絶景かな』

伊坂は一行に別れ、伯林オートマチック機械へ引きかえすので、お別れの宴を昨日の料亭で伊藤、新村氏に御馳走になりました。

五月二二日 伯林へ、三泊滞在。

五月二四日 四時南廻りで帰国の途につく。サイゴンより日本女性スチュワーデス二名搭乗、日本の新聞、週刊誌も四十五日振りで読んだが、何んだが、うわの空で文字通り帰心矢の如く、飛行機の速力がまどろくさかった。

五月二六日(月) 無事家族のまつ我家へ帰着。

有難う御座いました。夢にも思わなかったヨーロッパへお伴でき新村、伊藤両教授と合宿して、色々教えて頂きました。

組合学校国外教授だったと思います。

ここに鮮やかな一枚
ノーカーボン紙
レジンCCP

十條製紙
 〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)
 TEL. 東京(03)211-7311

日本を代表するインキ
TOYO KING
ULTRA70

東洋インキ

開店休業の労務個別相談

労務委員会 大 谷 家 清

労務問題は日頃の学習が大切で、ちょっとした不注意が思わぬ結果をもたらすもので、法を知り法を守ることは、企業を守ることであるから面倒がらずに勉強していききたい。そして労務問題とは多種多様であり、また急を要するものである。そこで労務委員会では、個別の相談に応える体制を整えて、労務ニュース誌上にその趣旨を掲載し、労務相談票を各支部に配布して、相談の受付を開始した。

ところが相談開設当初案件の申込みがあったものの、折角の体制も開店休業の状態であるに至っている。その間に労働環境は刻々と変化をしているから、労務問題は限りなく発生している筈であり、経営者並びに人事担当者は日夜ご腐心のことと推察している。事実、諸所で数多くの質問はあるが、その大部分が枝葉的なもので、その原因はどこにあって、どのようにしたら良いかの探究は面倒なのか、突込んで聞かれることは、殆どなく、おそらく表面的な応急処理でことを済せているのではないであろうか。

例年通り賃金引上げの時節が来ると必ず「今年の賃上げ相場(水準)は幾らぐ

らいか」という質問が多く聞かれる。賃金決定の要素は大別すると三つある。その第一は企業の支払能力、第二は従業員の生計費の考慮、第三は業界の水準(相場)であると言われている。しかし、これら三つが並列するものでなく、何といっても企業の存続が経営の大前提であるから、その支払能力が最も重要な要素であると思う。従って、過去から積み重なった賃金の大部分が根底にあって、その年度の賃上げ額は、その数パーセントであるから、その企業の支払能力の適正な算出が基本であって、業界の水準は総労務費としての金額を中心に参考にすべきであらう。

それから労務委員会では、印刷労使の近代化の推進を大きな柱の一つにしている。その場合の近代化とは何だろうか。その基本は相互の理解と信頼と協力によって支えられる労使関係だろう。そこで、労使間の真の理解はどうしたら生れるか、その理解が信頼につながり、協力し合うことができるようになるかは、幾多の労使間に介在する問題の解決のための手順がある筈である。その手順を着実に

追ってこそ近代化への道であるう、突飛なお題目を唱えても仕方がないし、偉い先生方の講義を聞いても直ぐに実用化できない。ましてや表面化した問題だけを応急処理しても、必ず同じ原因から同じようなことが起るのが労務問題である。労務問題は多種多様であり、しかもその企業には特有の歴史があり、体質もある。また従業員には労働者としての感情もあるから、細心の注意が望まれる。

例えば、賃金は労働の対価であるから職務遂行能力を中心にした職能給賃金体系を、多額の金銭を支払って、労務コンサルタントの先生にお願いしたところ、立派なものができ上った。ところが実施にあたって、従業員から疑問や批判を浴びた。その結果、活用することなく、従来からのあいまいな賃金決定方法に頼らざるを得ず、有名無実の体系になってしまった。「仏造って魂入れず」の諺のように手順を踏まずに進めた例を耳にするが、考えればもったいない話である。

このようなことを繰り返すと、従業員のモラールは、経営者の意思と反対の方向に進んでしまうであろう。労務問題については、経営者ももっと勇気をもって解決するため、業界内でオープンに話し合い相談する努力が必要なときであろうし、現在のような労働環境のときこそ、従業員のコンセンサスを段階的に得られるチャンスであろうと思う。

対話へのかけ橋

1枚の封筒にも
大きな使命が
かせられています。



山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151代
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721代

事務用印刷委員会が開発した

『いんさつマークの名入便箋システム』

ノウハウセットについて

事務用印刷委員会分科会長
京橋支部 監査

浅野秀夫

二月八日当委員会では、日本印刷新聞社他、業界誌五社を招いて「いんさつマークの名入便箋システム」の新聞記者発表を行った。

この「便箋システム」のノウハウセットは昨年四月より当委員会に於て練りに練って作り上げたものであつて今迄の印刷のあり方と少々異なり今後の小規模印刷業界のあるべき姿及び、方法を示唆するものと信じております。

以下簡単にその目的及内容を記します

一、システム開発の目的

このシステムは安定成長計画に於けるファーストプリンティングシステムをより効率的に運営するための応用技術として開発されたものです。

今迄と異なるのは経営基盤の安定を計るために「継続的な潜在需要の掘り起し」が必要と考えていることです。

二、その販売方法について

諸外国特にアメリカではすでに、名入レターヘッド等がもはや個人でも普通に

使われており普及しております。

しかし日本でのこのシステムを成功させるには、今迄の印刷受注のやり方ではなく、新しい販売の方法が必要です。

それはあたかも、消費構造の変化に伴い各種の企業が新しい時代の販売体制の確立を推進しているのと同列であります。

つまり一つには全社あげての積極的な販売活動、二つには経営者みずから先頭に立って社内指導力を発揮すること、三つにはこのシステムは「あらかじめ限定された販売形式」を必ず守ること。四つには定めた価格を必ず維持すること。大体以上であります。

細かく云えば、始めに社内キャンペーン、その後社外(得意先)キャンペーン等が必要になってまいります。そして又顧客対象と致しましては、銀行、生保、損保等では顧客サービスに多いに利用できますし、企業、個人を問わず、年末のお歳暮、年始の贈答品、お中元等、あらゆる進物用として送り先にふさ

わしいデザインを選び先方の名前を入れて贈答することが可能であります。

三、このシステムの限定された形式の仕様

サイズ B5判
用紙 上質55g
種類 高学年向、中年者向、ビジネス向、若者向、女性向、子供向の6種。

表紙デザイン 6種類
本文フォーム 12種類
枚数 一冊50枚綴
販売枚数 一セット一人分50枚綴二冊とする。

名入場所 各フォームとも右下スミに
4号明朝乃至5号明朝で打込むことにする。

カット カット見本の中にあるものだけ入れることにする。

注意 特別なフォームとか特別な数量、又用紙、カット等の注文を受け始めると作業が混乱し、能率が下降し、ひいては此のシステムの販売計画に頓挫を来たしかねない事に発展する場合があります。

四、その他の留意事項

このシステムを応用するには一つにはタイプライターが必要であること。二つにはダイレクト製版機を持つていること。三つには軽オフセット印刷機(B4)があることであります。

又細かいことは今回発表されたノウハウ

ウセットの中の「手引書」にすべてそのノウハウが記載されております。

◆ このシステムは組合全体の繁栄を目ざして開発されたものであり、従って営業が打ち合つて組合員間にミゾが出来ることが起きるのは望ましくありません。両者で話し合い円満な解決策をとるべきであります。

組合に属していない企業の進出とか、値崩れが起きる事態がおこることも予測されます。しかし不況克服を狙いとしてある業界の意向を充分理解して、そうした事態は絶対に回避する様努力すべきだと思います。

今迄「いんさつマークの名入便箋システム」の目的及内容を簡単に記してまいりましたが、これはあくまでもファーストプリンティングシステムの一つの応用であり相当の利益が上げられるか否かは、やられる各企業の姿勢及びこの取り組み方如何にかかっております。

自社に合うものかどうか充分慎重に検討されて採用されるなら、これからの小規模印刷業のあるべき姿は必ずや裏打ちされるものと思ひます。

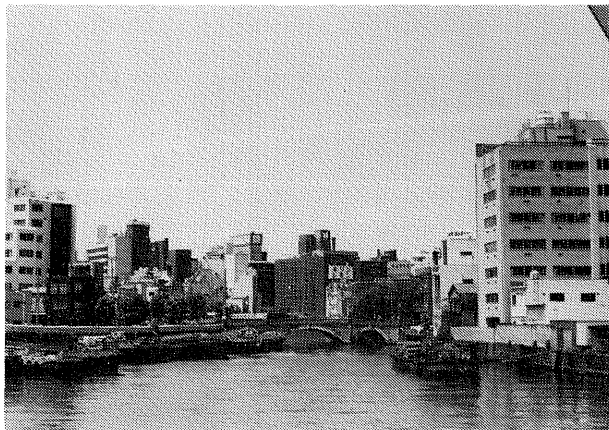
事務用印刷委員会発行の「いんさつマークの名入便箋システム」ノウハウセットご希望の方は当委員会事務局にお申込下さい。限定三〇〇部 定価一八、〇〇〇円

新 川 点 描

新川地区のページ

地域の歴史

新川が酒によって代表される如く、酒も新川によって生存の路が与えられていたという時代があった。それは、幾世紀かの星霜を閲する長い歩みであったに相違ない。何故ならばその間、新川は靈巖島という母体の中で、はぐくまれ、培わ



南高橋から新川方面をのぞむ

地 区 幹 事

れて輝ける生誕を印し幕末江戸の膨大な消費を反映し、旺盛な問屋地帯として発達したからである。

この背景となったものは、情緒纏綿たる下り酒を措いて他にない。馥郁として馨る伝統は、我々子孫の心の支柱となっているのである。新川と酒とが、不可分離である関係から酒というアクセサリを除いては新川を語るべきでない。さりながら酒は、新川で生産されたものでなければ、湧出したものでもない。靈巖島という舞台があつてからこそその生命であつた。しかれども靈巖島は、「新川」という小運河が、人文地理学的価値を代表したが為に「靈巖島」といえば殆んど新川を意味し、「新川」といえば靈巖島をも含んで呼ばれていた。

靈巖島の墳築には多くの土が駿河台、上野辺りから遙る運ばれ、かくして靈巖島に出現の運命が与えられたものに相違ない。生命を得た靈巖島が時去り星移る間に経験した多くの事件は、その尽江戸の発達と併行し、江戸市況の膨脹と充実は、

靈巖島をして要津たるにふさわしい相貌を備えせしめた。

◎要衝の開発

今より約五百年前、長祿年間に、太田道灌が古河公方足利成氏に対抗するため、非凡な築城術を駆使して江戸城を築いてから、江戸に初めて都市の端が開けたということは、遍く人の知る処である。それらの日における江戸は渺茫たる海原と、一望漠たる草原に配するに、佗しい漁村が纔に点在するといった僻地であつた。これより後世七十年の齢を重ねても、江戸城という拠点はあつたに似た処で依然として城の東面の平地は、どこもかしこも汐入の芦原で、海浜は不規則な丘陵に加えて鬱蒼たる松林が断続し、南西は渺々として萱原武蔵野へ続き、また反面には、嶮岨なる神田山(今の駿河台)を控えるなど、人よりもむしろ狐狸妖怪の棲息に相応しいものであつた。町筋こそ城下町の面目をやや保持しておつたようなものの、都市としての片鱗は何処にも表現されていなかった。

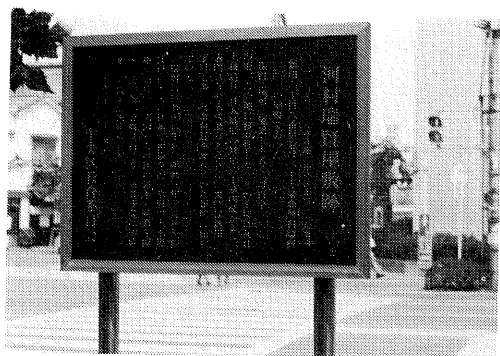
然るに、天正十八年、徳川家康が着任し所謂関八州を掌中に収むるに及び、既成都市の小田原、鎌倉、川越等の商人が踵を繼いで江戸に來たので、商工業は俄かに活況を呈するに至り、偶々朝鮮役が勃発し、更に二年後の関ヶ原の役を経てから後の天下の形勢は一変し、海内の実権は徳川氏に帰し、爾來江戸は全国経営

カラー製版は



能登プロセス株式会社

東京都中央区日本橋蠣鼓町1-25-7 ☎(667)5021(代) ☎103



河村瑞軒屋敷跡

の中心地と大きく変貌した。(江戸と大阪)慶長八年、開府と共に、人口は頓に増加して来たので、要地の確保は焦眉の急となった。そこで幕府は七十余名の諸候に命じ、千石につき一人の大夫を賦課し、神田山の切崩しを手始めに日比谷村の入江を埋立て、西丸下及び日比谷から呉服橋までに曲輪を立て、曲輪外では两国橋の手前から内神田辺、堀留川以東浜町一円、日本橋以南八丁堀一円、京橋以南芝口辺までが埋土され、凡そ三百町が得られた。日本橋浜町、葎町(今の吉原遊廓があった)八丁堀、銀座等はこの時に出来たものである。後世これを古町と云った。慶長八年以後は日本橋が江戸の中心であり、日本橋通りが江戸市街の最大幹線であった。元和二年家康薨去後、

大名の譜代、外様の別を問わずその妻子等は国元を引払い、江戸に移住を命ぜられ、遂には旗本にもこれが適用されたから、江戸の人口は膨脹するばかりであった。そして邸宅のないものには処々に新地を開いて、これを割渡した。これらの新地は恐らく島々として得られたものではなかったろうし、況んや機械力の乏しい時代においては、猶更のことで、いつの世にも自然との敵しい闘いがあり、我々の先祖の尊い血と汗が基礎となっていたのである。(慶長見聞集)

◎靈巖島の発生と展開

靈巖島がいつ頃出現したかは充分には判らないが、寛永年代の初め大川が南流し、日本橋川が東流して相共に江戸湾に注入していた頃には、遠からぬ沖合にいくつかの三角洲が発達しつつあった。「寛永版江戸絵図」の表現に従うと、茅場町の南東に当る海中において、その地形は南北に長く東西に短い無名の島が横たわっている。この島が「統江戸砂子」の所謂「中島」でそれはまさしく靈巖島と箱崎島との主体をなしたものに相違ない。然るに寛永元年、幕命を受けた権誉靈巖上人が法力を以て、八丁堀海上に陸地を築き、そこに梵宮を営み、これを靈巖寺と号したのを縁りに、その築島を靈巖島と呼ぶようになった(寛永日記)

靈巖寺の門前より立ち並び始めた町家には、特殊な発展はみられなかったが、明暦災後、靈巖寺が深川へ移ってからは

急激に発達し、代地をここに給せられて、移住して来たものも多く町家は増加の一途を辿った。これより約一世紀以上を経た靈巖島には十八個町が雑然と同居するまでに発達した。その十八個町の中、五個町は比較的古く、残る十三個町は、靈巖寺の旧境内であった。従って今日の新川一、二丁目、靈岸島一丁目、越前堀一丁目等が旧来の町で、他は後から出来たということになる島の北岸、南岸に半月形を描いて、片町式に細長く海沿いに建てられた旧五個町が後の靈巖島の発達に力を与える動因を作った(江戸砂子)

所謂新川が単に今の新川一、二丁目だけを指していなかったのと同様に「靈巖島」といっても今の靈岸島をいっているのではない。何れも現今では往昔の呼び



永代橋下流にある三菱商船学校跡の碑

名刺・はがき・カード・封筒 etc

……紙製品の総合メーカー



株式会社 山 櫻

東京都中央区築地3-2-9

電話 542-8511 (大代)

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪/昭島

名を、単に一区域にとどめておけるに過ぎない。これを要するに靈巖島とは新川、越前堀、靈岸島を総合しての総称であり、所謂「新川」とはその靈巖島の代名詞であった。かかる見地からすると、新垣川（日本橋川）の対岸の北新堀も新川であり、茅場町の東南端も酒問屋が点在していたが故に、新川の一廓として傘下に加えなければならぬ。併し、「下り酒の生徳が新川一丁目に深く根ざしていた」という事実は、我々子孫をして、更に後世へ芳醇な伝統を継がしめずには置かない。この靈巖島には、大消費地江戸の旺盛なる需要、猛烈なる購求欲に対処するための遅しい胎動が続けられていた。併しそれは、「新川」という問屋地帯となつて誕生する筈であった。

さて稿を改めて、街衢沿革に触れることにする。新川一丁目は、富島町、靈巖島浜町、靈巖島四日市町一部、南新堀一丁目等の四ブロックに分割されていて、新川二丁目は、靈巖島堀町、靈巖島四日市町一部、大川端町、南新堀二丁目等の四ブロックに分割され、この各町にはそれぞれ自主的な町政が布かれていた。

(京橋区史)

富島町は、明和二年、川を填築してこれを靈岸橋際立地と称し、後年町屋を開いてこの名を得た。

靈巖島浜町は、もと日本橋浜町にあったのが明暦災後、その地に溝渠を開鑿し

たので代地をここに給せられた。靈巖島四日市町は、もと日本橋四日市にあったのを、明暦災後日本橋川筋に土手蔵を築いた時、代地を給せられここに移った。

靈巖島堀町は、もと日本橋堀留の近くにあったのだが、明暦災後、その地から火除地となったので代地をここに給つた。南新堀一、二丁目は住むは一面の茅野であつて、湊橋の川筋も一小流に過ぎなかつたのを、元和六年に開鑿して通船の便を図り、堀の南北に市社を開設、日本橋川の下流の南に位するので、この名があり、対岸を北新堀町という(新撰東京名所図会)「靈岸島の碑中央区史より引用」

河村 瑞 軒

瑞軒は、元和四年二月(一六一七)伊勢で生れ幼名七兵衛、次に十右衛門と改め後に髪をのばして安治といつた。寛永七年一三才で江戸に出て、はじめ荷車挽きをしていたが出世の見込がないので大阪へ行こうと思ひ、小田原迄行ったが、福相の老人に、あんたは江戸へ帰りなさいとすすめられ江戸に引きかえしたと言ふことである。

寛文から元禄期(一六一七～一六九九)の豪商であつた。明暦の江戸大火の際、家財を売り払い、金十両をふところに木曾山中に走り、材木を買占めた話しは有名である。富を得てからは、治水



新川一丁目の小公園内の新川の碑

や海運の土木技術に長じていたところから、寛文十年(一六七〇)奥州阿武隈河口の荒浜から太平洋を経て、江戸に至る東廻りの航路を開き、十二年には出羽の酒田から日本海を南下して下関を廻り、瀬戸内海を経て江戸に達する西廻りの航路をも開き、全国沿岸一周航路の開拓に尽くした。この屋敷地横を流れていた新川も、瑞軒が堀り割つたと伝えられる。武江年表貞享年間記事に、邸宅のあった場所が南新堀一丁目で塩町に入る南角から新川までの一円とある。広壮な本宅、離れ座敷、土蔵四棟等があつた。なお、この地で没したといわれ、墓は鎌倉建長寺にある。

新川地区のページ

和・欧文 活字

材料 / テープ・メタルベース 他
インキ / 阪田 大日本 東京 東洋 各

和・欧文 各パンフレットあります



株式会社 京橋岩田母型

551 - 1380 - 2830 (店頭)2827

△トウのビジネス封筒
名刺・カード・はがき

- 営業品目
- 事務用和洋封筒
 - 名刺用用紙
 - 私製はがき
 - 招待状カード
 - マツ付封筒
 - R O マツ付封筒
 - DM用封筒

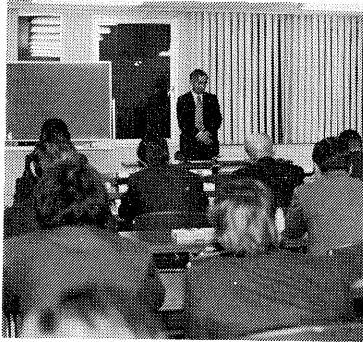
株式会社 △トウ エニパック

- 本社 東京都江東区永代1-2-1 電話(642)1141 (代表)
- 配送センター 東京都江東区永代1-1-7 電話(643)3237 (代表)
- 支店 城南(727)4141 本郷(643)7461 城西(994)5151 浅草(643)7851
- 橋本工場 橋本県下郡資野町木町友沼 電話02805(5)2100 (代表)

地区だより

▼新川地区 新川地区研修会が、3月14日、午後6時より、全印健保会館4階会議室にて、53年度最後の行事とし、東京都民銀行茅場町支店次長で、中小企業診断士の荒和雄氏を講師として開催されました。同氏は、中小企業についての著書も種々発行されており、当日は、ミクロ経済を中心に講演があり、参加者は30名で、経営の参考に資したいとの意欲も感じられ、又年始以来の会合ということでお互いに和やかな挨拶が交されました。

定刻田島地区長より開会の挨拶があり、講演に入る前に東京都火災共済組合より「火災共済」についての趣旨並びに特色の説明があり、又組合員の増強運動の促進について協力要請が行なわれました。次いで明祥印刷株式会社小森社長より、御子息の結婚御祝に対する謝辞が述べられ



荒氏の講演を聞く人々

て、続いて田島地区長より荒講師の紹介が行われたのち、「これからの中小企業経営」低成長時代を生きる知恵と題して約1時間20分に亘り、話が続きまして。

先ず現下の社会経済情勢の説明と、最近の世相万般に亘り論じ、次いで中小企業経営の特色として同族経営の主として利点を議論し、続いて、不況中でも伸びている企業の事例を挙げて説明され、終りに、今後の中小企業の展望として、経営者の健康と個性、強いリーダーシップをあげ、社内外の人材の活用、新規開発に取組む姿勢が必要とし情熱をもって経営に当らなければならぬとの結論は参加者に深い共感をもたらして八時過ぎ終了しました。(幹事、松栄印刷株式会社 森平)

▼「京橋地区」1月27日支部臨時総会には例年通り全員に近い人達が出席した。支部会合にはとめて出席し、執行部各位ご苦労にお答えすることが、当地区の支部に対する伝統的配慮である。然し乍ら所用等が重なり意に反することがある。そこで年始の臨時総会は、地区の新年会をやめてそれに合流するようになってから久しい。発案当初は、地区独自の新年会が拡大吸収された淋しさはあったが、今ではそれが当然の行事のように一人ひとりが受けとめている。出席率の高い地区では、当地区と同様の方法をとられていると聞いているが、年2回の総会位は、出席して日頃のご苦労に報いたいと念願している。その為にも行事日程は



三徳印刷故尾島氏の一周忌

早めに「京橋の印刷」などに予告して貰いたいものである。

2月24日地区の長老、三徳印刷の尾島さんが亡くなられて一年が過ぎた。その一周忌が本日開催され、京橋地区会員も招待を頂き、雨天にも拘らず多数の参加者で盛会であった。

厳肅の中にも故人の明るいお人柄を偲ばせる儀式のあと、多数の方々との懐古談があった。その中で立正大学の先生が、尾島さんとは長年の交友の中で、お互いに悪友同志であったと前おきし、「尾島は三つのことが大切だと云い、それをやりとげた数少ない貴重な友人の一人であった」と述懐された。

その三つとは、
一つは女房を愛すること
二つは事業を愛すること
三つは人を愛すること
社名もその三つの徳に由来されたものと、心の和む思いで聞き入った。

プロセスインキの最高峰

New Champion

Super Apex



大日本インキ化学

印刷製本が支える 組合給食

事業主と従業員の栄養源
健康を守る

給食センター

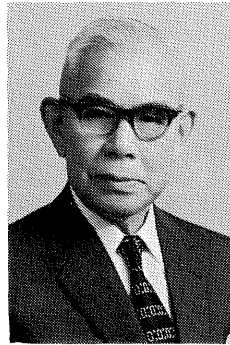
中央厚生事業協同組合(551)4909

理事長 清水栄之助

◎ご利用をお待ちして居ます

故先川道三さんを 偲んで

八丁堀地区 石沢 幸



ありし日の先川顧問

業界の大先輩であり京橋支部の顧問である先川さんが永眠せられ心に深く先川さんの他界をいたむとともに、いかに人の世のならいとは申せ、なんととしても哀惜の情にたえません。先川さんは昭和初期より業界の役員として活躍され、業界の急速な進歩発展と京橋支部の今日の隆盛は先川さんの終始変らざる業界に対する愛情とお力添えの賜であると思えます。私は先川さんとは同地区であり、一層感慨深いものがあります、あの慈愛あふるる温顔と高潔な人格は私共八丁堀地区組合員の誇りであり、私共の鑑でありました。思い出は種々ございますが私が京橋支部長に就任し挨拶に伺った折り、先川さんは「一つの事業でも一人や二人の力

ではなかなか出来るものではない組合事業は組合員の協力一致が必要だ」と申されました、私にとって感銘深い言葉であり私の心に今日迄焼きついております。協力一致ということは組合員の和と協調と云うことでありましょ、一つの事業でも一人や二人の力ではなかなか出来るものではないと申されたことは組合事業は組合員が結集すれば大きな力となり個々では不可能なことも可能となると云うこととでありましょ、先川さんは常に業界の安定と発展を念願としておられました私共が真に協力協調し業界の発展に努力して行くことこそ先川さんの御意思にこたえる道ではなからうかと思えます。心から尊敬と感謝をささげ安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

生いたちと略歴

明治25年 新潟県中条町に生る。

大正6年 上京し京橋区弥左衛門町の手工館に入社。

大正8年 手工館を辞して先川文界堂を

入船町において創業。
大正9年 社運も逐次発展し八丁堀の現在地に移転。
大正12年 関東大震災に罹災を契機に、社屋を拡張新築し、鋭意社業の隆昌に努める。

昭和22年 幸い戦火を免れ、戦後の復興を機して株式会社組織を改めて今日に至り、創業五八年である。

主な組合運動歴

昭和4年 東京印刷同業組合京橋支部第八区理事に先川氏が推薦され、小俣栄蔵、飯塚己之助、渡辺大吉、森山録三郎氏らと共に、当時の京橋支部長細川活版所の戸田直秀氏から依頼される。

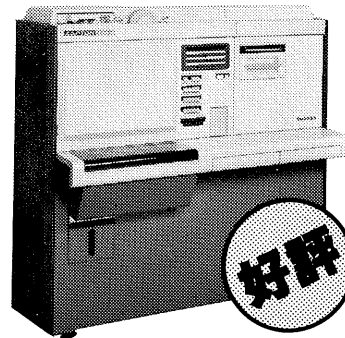
昭和7年 京橋支部事務所で開かれた座談会に先川氏出席。その座談会では、土井儀一郎、熊谷敬一、長島正作、土屋玉葉、増田末吉、池田半之輔、浜田仙松氏ら三六名が集り、次の問題について活発に論じあった。

話題は「支部総会決議の印刷料金二割値上げを新聞に公告。印刷料金の低落は大工場の競争が原因。区費の増額要求。支部全体の慰安会開催。印刷資材の共同購買。新規開業の制限及び認可制度の実現。地方刑務所印刷工場による被害対策。」

昭和10年 東京印刷同業組合の代議員七〇名の改選に当り、京橋支部では定数一二名の代議員選挙の投票の結果、先

各地で続々導入中!! SAPTON[®]-Somanechi

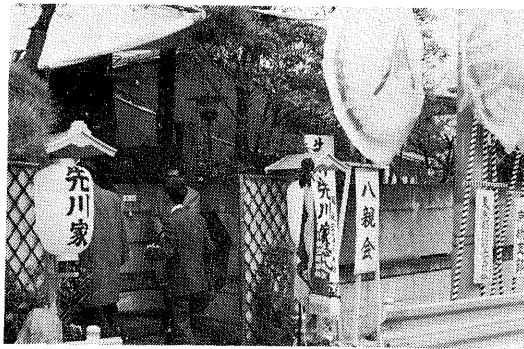
電算写植機サブトソマネチが今、「経営の合理化と売り上げアップ」の旗手として絶大な人気を博しています。「多種少量の組版でも採算がとれる」ことから、東京をはじめ各地の大手・中小印刷会社・軽印刷会社でも続々導入中! 「電算写植を入れても……」の不安を解消しました。



好評

株式会社 写研

東京都豊島区南大塚2-26-13 千170 ☎(03)922-2211 ●札幌・仙台・金沢・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡



自宅でしめやかに営まれた告別式

川氏は八位で当選した。

土屋玉葉京橋支部長三期目の常置委員 (拡張委員) に推薦される。

昭和13年 本部代議員の京橋支部定数二名の選挙に立候補し当選。日華事変の進展による国家総動員法が公布された中で行われた選挙は京橋支部区内は激戦で、一、二名中、七名の新人が選ばれる新旧の交代が目だった。

土屋玉葉氏京橋支部長四選され、支部幹事に先川氏を推薦。本部、活版印刷料金調査委員に京橋区より先川氏選ばれる。

昭和16年 増田末吉京橋支部長のもと常任幹事として活躍。

昭和17年 東京印刷同業組合解散、印刷業界の企業整備始まる。

昭和19年 東京都印刷工業統制組合が創設され、京橋支部長に高橋与作氏が就任。先川氏は、熊谷敬一、中村徳三の両氏と共に副支部長に委嘱される。

昭和21年 東京都印刷工業統制組合は戦後の復興のため再編成され、吉田信賢理事長が退任し、松島徳三郎氏が理事長に就任、京橋区からは理事に中村徳三氏、監事に先川氏が選任された。

昭和22年 東京都印刷工業協同組合が設立。京橋支部長に高橋与作氏、副支部長に先川氏と中村徳三氏が選ばれた。

昭和23年 東京都紙製品工業会創立。のちに東京紙工振興会と改称。先川氏は代議員兼務の評議員に選任される。

昭和24年 東京印刷工業協同組合の再出発。創立総会で高橋与作氏が理事長に就任。京橋支部長に中村徳三氏、副支部長には先川氏、伊坂一夫、堀沢健治氏が選任された。

昭和25年 東京印刷工業協同組合臨時総会が開かれ、京橋支部より一九名の総代が選出され、先川氏が選任された。

昭和27年 伊坂一夫氏が京橋支部長に就任、退任役員中村前支部長、先川、堀沢両前副支部長に感謝状と記念品が贈られる。

同年 先川氏は業界功労組合員として二〇年以上の経営精励者並びに五年以上団体体育成功労者として栄誉の顕彰を受ける。

昭和28年 印刷業安定業種に指定され調

整組合創立協力委員会設置に当り、京橋支部の協力委員に高橋与作、伊坂一夫、田島久男(支部長)、白橋竜夫氏ら一三名に先川氏が選任された。

調組協力委員会を設立準備委員会に移行、準備委員に伊坂一夫、先川氏ら二三名が選ばれた。

昭和32年 東印調組検査員に京橋支部から先川氏、白橋竜夫、堀沢健治、長崎義信、長島五郎、中村徳三氏が選任される。

昭和33年 東京印刷工業協同組合と東京印刷工業調整組合の機能を一本化し東京印刷工業組合に移行。

昭和34年 東京都印刷工業組合機械増設監査員に先川氏、白橋竜夫、長崎義信、堀沢健治、上田茂正、長島五郎の六氏が京橋支部の推薦で委嘱される。

東印協組設立一〇周年記念事業委員会に京橋支部より総務委員に先川氏、小林光次の両氏が推薦、委嘱される。

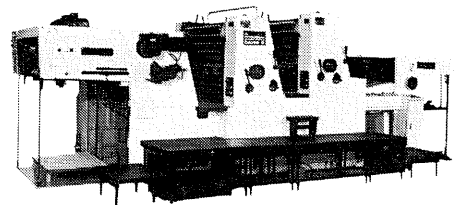
同・一〇周年記念式典で三〇年以上の経営精励賞を先川氏、小宮山庄左衛門伊坂一夫、篠倉政一、山田実、荻野義博、長島五郎氏ら一四名が顕彰された。

昭和35年 東印工組活版部会設立準備委員に選任される。

昭和二七年執行部退任以後支部相談役として後輩の支部運営の指導に当る。

昭和53年 支部顧問に推挙され就任。

決定! オフ下請なら宏洋社



菊全2色三菱NEW DAIYA II-2N 稼動開始

中央区湊2-7-2 (有)宏洋社 ☎551-9992

親しみをこめたおつきあい

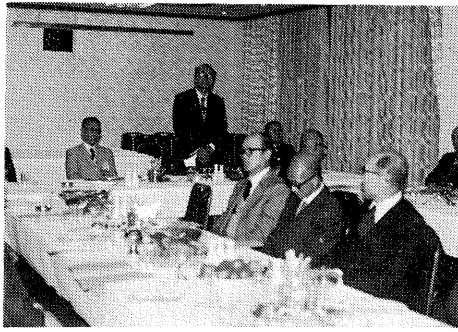
文化産業信用組合 京橋支店

理事 湯 浅 時 夫
支店長

東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代)☎104

82年ドルツッパ研修結団式

昨年から募集をしていたドルツッパ研修団は申込み三五社、四五名旅行団としては理想的な人員になり、二月一六日東京都勤労福祉会館で結団式をおこなった。当日は午後五時三〇分、小宮山支部長の挨拶、一足先に研修団を組織された日本橋の平林支部長、河北前支部長と、ドルツッパ展をはじめ研修日程や、見学先のお世話を頂く日本橋の成島印刷の成島社長、新宿の嘉瑞工房高岡社長のヨーロッパ事情から帰朝報告書作製に至るまでのお話のあと、本部・久保田常務理事の乾杯で歓談にうつり、旅先の話など楽しさ一杯。



ドルツッパ結団式で挨拶する小宮山支部長



盛やかな表彰式で白橋工団連会長の挨拶

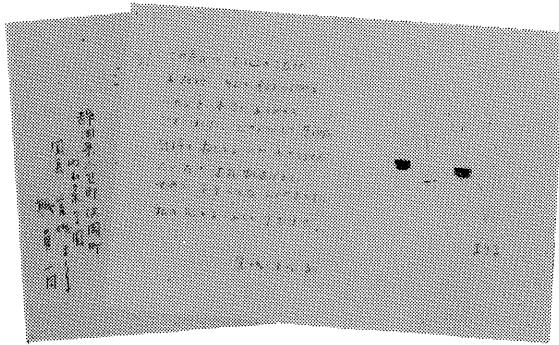
優良従業員 中央区・工団連表彰

区内において事業をおこなっている企業で、事業主として三〇年以上在籍されている方と、区内の事業所に一五年以上勤務された従業員の方を、工団連傘下の各支部から推薦された優良事業主、優良従業員が中央区長、工団連会長の表彰が毎年おこなわれている。

今年も二月二七日一〇時三〇分より中央会館において横関中央区長、白橋工団連会長の挨拶と表彰がおこなわれ、それぞれに表彰状と記念品が贈られた。続いて藤間区議会議長、広川商団連会長の祝詞が述べられた。

ねむの木学園から礼状

一月二七日熱海市・静観荘でおこなわれた京橋支部臨時総会の受付に「恵まれない子らに愛の手を」と訴えた立看板の前にジャンボウイスキーの空堀は、組合員皆さんの前にお目見栄して、三回目ですが、今回は二万八千百拾五圓の心のもった浄財を、早速、静岡県小笠原浜岡町で女優の宮城まり子さんの主宰される「ねむの木学園」に寄贈しましたところ、まり子さんのイラスト入りの礼状が届きました。



作業交流は支部組合員に

オフセットによる複写帳票類・端物印刷は安心してまかせられると定評ある当社へどうぞ

●ハイデルKORD(A2)ダビッドソン700S(A3)

有限会社 中山印刷所

湊2-7-7 TEL. (551)2937(553)6796

オフセットはハイデル

A3判単色、多色、多色両面機から、菊全判多色、多色両面機まで豊富な機種。



グラフィックアーツの総合商社

印刷機械貿易株式会社

本社 大阪府寝屋川市豊里町1番4号 TEL.0720(32)0441 千572
東京事業部 東京都品川区南大井3-21-4 TEL.(763)4141 千140

支部の動き

2月5日 京橋の印刷編集会議

2月6日 支部長会、於・本部、小宮山

支部長、フリンテングフェアの実行
委報告、支部事業台帳一〇〇%回収
を報告。

2月8日 総務会、組織増強運動の打合

2月14日 部長会、地区長会。会議終了

後、三田村八丁堀地区長入院加療中
のため小宮山支部長他役員二名がお
見舞。

2月16日 京橋支部ドルツバ結団式、於

・東京都勤労福祉会館。

2月23日 京橋の印刷編集会議。小宮山

支部長、築地仁川堂川橋印刷機社長
御母堂通夜、八丁堀先川印刷機社長
先川道三支部顧問の通夜に弔問。

2月24日 故先川顧問の葬儀に支部役員
並びに組合員多数弔問。

仁川堂川橋印刷御母堂葬儀に支部役
員並びに組合員が参列弔問。

2月27日 中央区並びに工団連主催の優

良事業主及び優良永年勤続従業員の
表彰式、於・中央会館。

慶 事

1月13日 八丁堀地区組合員で本部常務

理事の東京真宏印刷機社長久保田幸
一郎氏次女昌子さんが御結婚されま
した。おめでとうございました。

弔 事

2月22日 八丁堀地区組合員で当支部顧

問の先川印刷機社長先川道三殿には
心不全のためご逝去、行年八五才。

2月22日 築地地区組合員仁川堂川橋印
刷機社長御母堂川橋キサ殿には入院
加療中の処、気管支炎にてご逝去。
行年八四才。

各種印刷コンクール受賞作品きまる

三月一日印刷会館において全印工連
七九年度名刺、年賀状、宣伝チラシ等
のコンクールが、各界の関係者を招い
て開かれた。京橋支部では次の各社が
それぞれの分野で、数多くの応募作品
のなかから選ばれて受賞されました。

通産大臣賞	東京印刷紙器機 (新川)
名刺の部	全印工連奨励賞
年賀状の部	福田印刷工業機東京支店 (築地)
DMの部	日本チェーンストア協会会長賞
日本チェーンストア協会会長賞	日本精版印刷機 (新富)

編 集 後 記

▼テレビ番組を見ていて一週間の早さに
びっくりし、また月一回の給料の営業支
払でも同様の経験をする。どうも年のせ
いばかりでもなさそう。京橋の印刷を
編集して約一年、この方は一年よりも毎
月の早さにいさか戸迷いを感じる程で
ある。皆さん怠けるどころか、かなり一
所懸命、手前味噌で恐縮だが、涙の出る
程尽力?している筈だが、又々遅刊とな
り申し開きもなし、ご寛容の程を、

▼年度末でもあり本号は組織増強運動を
特集した。本年度本部事業の目玉でもあ
り、また悲願でもあるこの運動は、準備
不足の上、業界事情の変革期にもあた
り、その上高い増加目標もあり、当初は
その活動の展開すら危惧されたが、地区
長始め幹事の皆さん達のお骨打りによ
り、着々その成果を挙げつつあることを
ご報告する。過日の理事会でも当支部某
理事の発議が即時可決し、この運動の期
限も来年度第一・四半期迄延長されたこ
とをお知らせし、更に支部組合員ご一同
のご支援とお骨折りをお願い致します。

▼プリンテイングフェアが盛会裡に閉幕
した。当日の様態と参加された皆さんの
ご感想などを中心に来号の特集と致した
い。特別招待券の消化のブウンは、地区
長さんのお骨折りと、地区単位に多大の
ご負担とご努力を頂き厚くお礼を申し上

げたい。本行事開催の趣旨を全面的にご
理解・ご協賛を頂いての成果のことと考
えられるが、他面当執行部に対する心の
こもった思い遣りと、激励のお気持ちと受
けとめている。

▼去る二四日の夜、東京地方をおそった
豪雨により、又々東銀座印刷さんが水害
にあわれた。神田川が氾濫した昨年の被
害に比べれば、今度はマンホールが逆流
し、物置きにあった印刷物等がぬれた程
度でご心配なくとの、大橋社長のお言葉
ではあるが、重ねての被災、物心両面に
わたりさぞご心労が多かったものと推察
され、不躰ながら本紙上でお見舞を申し
上げる次第です。
T・K

▼組合員増強運動で支部の組合員が三〇
〇社を突破しました。あちこちと未加入
の業者を訪問して、まず尋ねられるの
は、組合に加入したら、どのようなメリ
ットがあるのかという事でした。加入す
る側は、当然それを期待するわけです
が、他方本願的にただ組合に頼るのでは
なく、組合に加入し、積極的に、いろい
ろな考え方を持った同業者と会い、その
話を聞いて参考とし、役立てていくと、
いう考え方でなければ、組合から与えら
れる情報だけではいつまでも不満は解消
されなれと思われま。五年、一〇年と
いう長期的視野に基づいて組合を自社の
経営に利用していくという姿勢が大切で
あるかと思ひます。
(H・I)